HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	演習
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1957
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77314
Type	manuscript
File Information	K008_0131.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

東海

王子製紙春日井工場特漉紙使用

NOTE BOOK

MADE OF FINEST PAPER PREPARED IN TOKYO

演習

昭和三十二年度

新星ノート

社会学研究に於ける時点の意味
と社会調査の意義
基本的社会的構造の闡明
に充分の資料を得られるのは
現在以外には無い。
社会学は基本的社会的構
造を闡明するのが少くとも
研究の目標

第一回（五月十五日）
社会学調査研究の意義につき
余の要意見概[illegible]

第二回（五月二十日）
笹村氏来、学生等、皆大学受準
備の為大多忙につき且休講

午前中は笹教授を講師にする為の選考委員会に出席。可決。

第三回（五月二十九日）

布施氏の都市家族研究報告。

第四回（六月五日）

大会準備多忙のため今回休講の希望を塾幹事より申し出ありしため休講とす。

第五回（六月十三日）
布施君の都市家族の社会学
的研究の発表前回につゞく。
今日は塚本君も欠席。

第六回（六月十九日）
広田君の都市に於ける職域
集団の調査研究発表

第七回（六月二十六日）
大学準備の為休講

第八回（七月三日）

塩女、北海道豊村部落における
診療団体について

氏演習の直前、武田兼郎氏を
同じ保東君同席の上布施
君の助手採用手続依頼。
演習中笹森君講師採用
発令を聞く。
〃演習担保東笹森宮のり
の諸君と「どんぐり」について懇談会

第九回（九月二十五日）

安井君、ラヂオ共同聴取に関する研究

（十月二十五日は文学部（十周年祝賀）運動会）

第十四回（十月十六日）

堤女の豊お研究前につづき。

第十一回（十月三十日）
現地演習　安井君指導
共同聴取の実際見学の為に
白石農場及び中継器の考慮
実験回、全員四十二名（二年の
学生も含む）